

## Valuable experiences at Perth

今回のカーティン大学英語研修を通して、私は多くの貴重な経験をすることができた。しかしその全てを語り尽くすことは極めて難しいので、内面的な話を述べる 4、5 項目目以外は来年カーティンに赴く人々にとって役立つような情報を中心に書き記そうと思う。

### 1. パースにおける生活に関して

夏場のパースの気温は 30~40℃と夏場の日本と同程度に暑いですが、湿度がとても低くあまり汗を掻かずに済むので過ごしやすかった。しかし、朝や夜には気温が 18~20℃程度にまで下がることもあったので、夜遅くまで出かけたりする際にはシャツやパーカーを持ち歩き、適宜調節を行った。また、雨は滅多に降らないと言われたが、私たちがパースに滞在していた間には 3、4 回雨に見舞われたので、念のために持参した折りたたみ傘はとても役に立った。

パースにおいて移動は車かバス、電車が主流であるので、必然私たちはバスと電車を利用した。しかしパースの交通機関の利用料金はそこそこに高い上に、定期券のようなものはないので交通機関の利用にはとてもお金が掛かった。一応スマートライダーと呼ばれる日本におけるスイカやパスモのようなものを作成することで割引を受けることができたのだが、その割引率は微々たるものだったので乗り降りが楽になる程度の利点しかなかった(因みにこのスマートライダーは大学で一斉に発行させて貰えた)。結果的に私のホームステイ先の立地条件では、3 週間の交通費だけで 200 \$ 強も掛かってしまった。

パースにおいて買い物をする際には基本的にはフリーマントルかパースシティーという二つの街に赴くか、郊外のショッピングモールを利用した。お土産を買うならフリーマントルの市場かパースシティーにある土産品のディスカウントショップ、ブランド品などを買うならパースシティー、食べ物や日用品を買うならショッピングモール、と言った具合に用途別に使い分けることである程度便利に買い物をすることができた。しかし、パースは鉱山バブルが起きていたせいもあり、物価は日本の 2~3 倍にまで高騰していたので、お得な買い物などは殆どできなかった。600ml ペットボトルのジュース一本がコンビニや自販機では平気で 3~4 \$ し、マックやバーガーキング(オーストラリアではハングリージャックという名前で営業していた)などのファストフード店でセットを頼めば 8~10 \$ 掛かるような場所だったので、たった 3 週間の滞在でも非常にお金が掛かってしまった。因みにショックだったのがオーストラリア土産として有名なティムタムは、パースで購入するよりも日本のドン・キホーテの方が普通に安く売っていたことである……。

### 2. ホームステイに関して

私がホームステイしたのはニュージーランド人の老夫婦のご家庭だった。私とホームステイ先が

同じだったパートナー以外に、ブラジル人のディエゴという留学生もホームステイをしており合計5人(そのブラジル人は3週目に引っ越してしまったので3週目からは4人)で生活することになった。食事も美味しく、オーストラリアの家庭によくある水の使用に関する厳しいルールも特になかった。とても住みやすい環境を提供して貰えたと言える。食事は肉中心の生活で太るのではないかと行く前には危惧していたのだが、私のホームステイ先のご家庭の食事はバランスの取れたメニューが多く、寧ろ若干痩せたほどであった。ただ一つ不便だったのはインターネット設備が整っていなかったことである。これに関してはよくディエゴと冗談半分に愚痴り合っていた。1週目はなんとか我慢して過ごすことができたが、とうとう耐えかねてホストマザーに相談するとポケット Wi-Fi を借りることができるようになったので、自分で携帯電話会社のショップ(私が利用したのはテルストラという携帯電話会社のショップだった)を訪れプリペイド SIM カードを購入し契約を結び2週目からようやくインターネットを使えるようになった。オーストラリアではインターネットも携帯電話もプリペイド利用が浸透しているようで、日本のような定額制の料金システムは一部を除いてあまりないようであった。プリペイド SIM カードの購入と契約はとても簡単で安価だったのでとても便利で助かった。私が契約したのは有効期限 30 日、利用可能データ容量上限 1GB のプランだったが、LINE やメールアプリ、Facebook などを使う分には十分持った(たまに動画を見たり写真をダウンロードした際には利用可能データ容量の残量が一気に減り、若干焦ったが……)。

### 3. 英語研修プログラムに関して

今回の研修プログラムでは午前中に 2 時間一コマの英語の授業(ELICOS クラス)、午後には観光地を訪れたりオーストラリアの文化を学ぶ課外授業を受けた。午後の課外授業がない日には1日を通して ELICOS クラスを受講した。ELICOS クラスは自分に合ったレベル別に受講することができるので、自分のレベルに合った授業を受けることが可能であった。私が受講したレベルは GE5 という上から 2 番目のクラスだったが、授業内容そのものはせいぜい日本の高校英語程度だったので若干簡単に感じた。また教鞭を取ってくれる先生方は基本的にこちらが聞き取りやすいように話してくれていた。特に支障なく授業を受けられた。授業では頻繁にディスカッションを求められる機会が多くスピーキング力がかなり鍛えられたように思う。お互いに英語が完璧じゃない異国人どうしで英会話をするようになるので、日本国内に留まっていたは決して経験することのできない経験をすることができ、とても新鮮だった。しかし、私は今回の ELICOS クラスに関して、とても大きな不満を抱いている。海外で英語を学べるというとても貴重な経験をできる環境を用意してくれた東京都市大学やカーティン大学の手前、こういう言い方は大変申し訳ないのだが、クラスの雰囲気あまり良くなかったのである。ディスカッションをしようと話し掛けても素っ気ない相槌しか返してくれない生徒がいたり、下を向いてずっと iPhone でゲームをしている生徒がいたり、明らかにやる気に欠けている生徒が多かったのである。挙句の果てには授業中に紙飛行機を投げ出し始めた生徒も出てきたので、呆れてものも言えなかった。しまいには午前と午後の先生方両方に授業態度が悪いとクラス全体で説教をされてしまった。あまりに耐えかねて午後のクラスの先生に相談してみると、私が所属したクラスの生徒の大半は査定に通るさえすれば授業などどうでもいいという考え方で ELICOS クラスを受講しているのだと教えてくれた。生徒一人ひとりにそれぞれ考え方や主義があることも理解しているつもりだが、こういった形で英語を学びに来ている身としては少々残念な気持ちになってしまった。辛うじて後半からは一緒にバスケットをしたり雑談をしたりする友人もでき、授業も受けやすくなったが全体的な雰囲気だけは改善されないままであった。こうい

った報告書であまりネガティブなことを書き記すのは適切ではないかもしれないが、決して雰囲気  
が良く、やる気に満ち溢れたクラスばかりではないことを、多くの人に知って貰いたかったので敢  
えて書き記そうと思った次第である。

#### 4. 研修前と研修後とで自分自身に変化した点、発見したこと

正直に言うと私の場合は今回の研修を通して英語力の向上はほぼ見られなかった。私は幼少期に  
アメリカに住んでいたこともあり、元々最低限の日常会話をするだけの英語力は持ち合わせていた  
ので、三週間だけではオーストラリア訛りに慣れた程度の変化しかなかった。しかし、実際に現地  
の人々と会話することで、自身の英語力には何が足りないのかを確認することができたので、そ  
れは大きな変化と言えるかもしれない。また、現地の文化や人々の価値観に触れることで自身の視  
野が少し広がったように思える。オーストラリアだけでなくベトナムやブラジル、中国などの国の  
人々から見た日本の姿を知ることができたことも新鮮だった。中でも最も印象的だったのは海外の  
英語を学ぶ学生の英語という学問の捉え方である。彼らの多くは英語というものをあくまで言語、  
それをを用いることで何かを成す為の手段であるという意識が強かったように思える。日本で英語を  
学ぶ学生の多くは漠然とキャリアアップの為にと考えて英語を学び、ともすれば英語を習得す  
ることそのものが目的となっているように思える。それに対し海外の学生たちはエンジニアリングを学  
ぶ為、英語圏の企業に就職にする為などの英語を習得した先の具体的なヴィジョンをよりはっきり  
と持って英語学習に取り組んでいるようだった。それ故に、早く大学の本コースに進んで自分の興  
味のあることを学びたいと焦ってしまい前述のような授業態度になってしまうのかもしれないが、  
その勉学に対する貪欲な姿勢は見習うべき点が多かったと思う。私自身は情報科学を学ぶ上で英語  
は必須の言語・技能であると考えて今まで英語を学んできたつもりだったが、彼らに比べるとまだ  
まだ先を見据えて英語学習に取り組んでいないなと考えさせられたので、今後はより一層目的意識  
を持って英語学習に励みたい。

#### 5. 英語研修の経験を今後どう活かすか

前述した通り、私は今回の研修を通して自身の英語力で不足している点に気付いた。それはボキ  
ャブラリーのなさである。相手の言っていることが理解でき、自分の考えも英語でまとめられるの  
に肝心な部分の単語だけが思い出せない！という状況が多く、とても悔しい思いをした局面が多か  
ったのである。英語で話す際には英語でものを考えているので、単語帳などで強引に日本語訳を覚  
えたような単語は会話の際には殆ど出て来なかった。今後はただ日本語訳を覚えるだけでなく、英  
英辞典なども積極的に使って英単語の意味を英語で覚える努力もしてみようかと思う。

また、様々な場で英語で会話をするうちに英語で下らない雑談をしたりジョークを言えるよう  
になりたいとも考えるようになった。日常会話で使うような砕けた英語表現はただ机に向かって真面  
目に勉強するだけでは中々覚えられないので、これからは日本国内でも外国人のよく集まるバーや  
施設などに積極的に訪れ、実際に会話を試みてみたい。

今回の研修全体を通して私はとても貴重で有意義な経験を得ることができた。良いことばかりで  
はなく嫌なことや悪いことも多くあったが、それら全部をひっくるめて良い経験だったと断言する  
ことができる。海外から見た日本の姿や、外国の人々の生き方や価値観を知ることができる機会な  
ど中々ないので、この研修に参加できたことはとても幸運だった。今後はこの経験を単に英語学習  
の為だけでなく、様々な場面で活かし自らの人生をより豊かなものにできたらと思う。

